

# News Letter

子供を誤飲事故から  
守るために！

## 薬剤科

子供による誤飲事故と聞いたら何を思い浮かべますか？子供は5ヶ月くらいになると物をつかめるようになり、つかんだものを何でも口の中に入れようとします。よく聞くのはタバコや小さなおもちゃなどではないでしょうか？実は、医薬品の誤飲事故がタバコに次いで多く報告されています。



○ 医薬品の誤飲事故について  
実際はどのような事故があったのでしょうか？

例  
・クリームを体に塗った後、放置していた。しっかり蓋を閉めたつもりであったが、気がついたら子

供がチューブを衝えており、口の中にクリームがついていた。  
・子供がよたよた歩いていたため確認したところ、母親の薬剤が床に置いたままになつており、抗不安剤が1錠減っていた。薬は1包化されていたが、飲みやすいように開けたまま床に置いていた。  
人用の水薬（7日分）を、母親が目を離した隙にすべて飲んでしまった。



こうした誤飲事故から子供を守るためにも、どのような状況で事故が起っているのか知っておく必要があります。

中毒情報センターからの情報では、誤飲した子供の年齢は1～2歳がもっとも多く約72%を占めています。次いで0歳、3歳以上となっています。

また、誤飲した医薬品は子供の薬だけでなく大人の薬を誤飲した件数も多く、医薬品の種類について見てみると錠剤や水薬だけではなく、クリームなどの塗り薬も口に含んでしまうケースがあります。

③重篤な健康被害を生じる可能性のあるリスクの高い薬を服用している場合は、特に注意を払いましょう。例えば、向精神薬（催眠鎮静剤・抗不安薬・精神系の薬など）、血糖降下剤、気管支拡張剤、降圧剤などです。

○ 事故を起こさないためにできること



①子供が勝手に薬を取り出せないような工夫をしましょう。子供の手や目の届かない場所に置くだけではなく、鍵のかかる場所に置く・取り出しにくい容器に入れるなど複数の対策を講じましょう。

②服用後は必ず、元の安全な場所に片付けましょう。また、子供の興味をひかないよう、医薬品の出し入れをするところや服用しているところを見せないように気をつけましょう。

た。足場を用いて、高い場所から薬を取つて飲んでしまったという報告もあります。

## ○万が一誤飲してしまつたら…

医薬品を誤飲した場合は、お子様の状態や薬の名称、飲んだ量を確認した上で、直ちに専門の相談機関に連絡し、必要に応じて医療機関を受診しましょう。

**主な相談機関**  
(**通話料は相談者負担となります**)

### ★ 小児救急電話相談 #8000

#8000番をプッシュすると、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送されます。

つくば  
029・852・9999  
(9時から21時まで対応)

第1回  
平成27年6月14日(日)  
10時～11時30分

第3回  
平成27年6月28日(日)  
10時～11時30分

① 「糖尿病の基礎知識」  
内科医師 稲田 昌二郎

① 「実際に血糖値を測ってみよう」  
臨床検査技師 野町 真由美  
川窪 美乃莉

② 「糖尿病患者のフットケア」  
(足のお手入れ)  
看護師 田中 千明

② 「運動療法について」  
理学療法士 今橋 一幸

③ 「食事療法の基本」  
管理栄養士 井上 那奈

③ 「アルコール、清涼飲料水に含まれる糖分を知ろう」  
管理栄養士 野村 愛

## 糖尿病教室のご案内



第2回  
平成27年6月21日(日)  
10時～11時30分

① 「糖尿病の薬について」  
薬剤師 宮村 憲明

会場 橘多けんみん病院  
中会議室 3階

参加費：無料

参加申し込み問い合わせ先  
(0880) 66-2222  
担当 内科外来 新見

医薬品・化学物質（たばこ・家庭用品など）、動植物の毒などによる中毒事故の対処についてアドバイスを受けることができます。

皆さんで交流しながら学びませんか？糖尿病の治療を支える専門の医療スタッフがサポートさせていただきます。

③ 「少しの工夫でOK！栄養素バランスのよい食事になるコツ」

管理栄養士 井上 那奈



**【連絡先】**  
大阪 072-727-2499  
(24時間対応)



お  
知  
ら  
せ

ご意見箱について  
CC委員会より

当院では、皆さまからの要望や感想を受け付けるご意見箱を設置しています。今まで2階の総合案内裏のみ設置しておりましたが、今年の2月より各病棟のエレベーター裏のラウンジに設置しました。

皆さまからご意見の回答はすべてではありませんが、総合案内横の掲示板と各病棟ラウンジ案内も設置しました。

いただきたいご意見の回答はすぐには、病院として出来る限り対応をしていきたいと考えています。ご意見を聞いていきますのでご覧ください。

★総合案内



★各病棟ラウンジ



\*7階病棟のみ掲示はエレベーター前です。

平成26年12月1日～平成27年1月31日のご意見の件数

診療について	2件
窓口について	3件
待ち時間について	2件
接遇について	2件
施設について	1件
合 計	12件

★がん患者さんならびにそのご家族の皆様へ

日時：平成27年4月26日（日）  
10時～12時

場所：幡多けんみん病院  
3階 大会議室

◎共に語り合い、学び合いを通して親睦を図り、また安心して納得できる医療を受けられるよう医療従事者との情報や意見の交換をしてみませんか。

幡多地域に居住されている方に限らず、また治療を受けている医療機関を問わず、どなたでも参加できますのでぜひ気軽にご参加ください。

【問い合わせ】  
幡多けんみんせん支病院  
電話番号  
0880-662222

幡多がん患者会  
よつばの会

3月10日



3月になりました。梅の花も散り、そろそろ桜の蕾も大きくなっていくこの季節に、まるでなごり惜しむかのように冷たい雪が降りました。当院もあっという間に一面真っ白になりました。診察を終え帰宅してゆく方々も3月に雪？と思ったことでしょ。

寒暖差のあるこの季節、体調管理に気を付けて、桜の開花を楽しみに待ちたいものです。



\*3月10日撮影

## 病院の理念

- 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
- 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの（薬剤情報提供書・お薬手帳など）**を持って行くようにしましょう！

## 私たちの目指す医療（基本方針）

- 正確で間違いのない医療
- 十分に説明をする医療
- 透明性を大切にする医療
- 患者さんの希望を大切にする医療

## 第25回幡多ふれあい 医療公開講座



吉本 啓一郎  
渡川病院 院長  
②認知症疾患医療センターでの  
治療と介護の要点について  
取り組み



①肺がんの診断と治療  
四万十市民病院 外科部長  
石井 泰則

日時：平成27年4月19日（日）  
13時開場、13時半開演  
(16時終了予定)  
場所：四万十市立中央公民館  
一階大会議室  
(四万十市右山五月町)



\*各市町村担当部署

「問い合わせ先」  
幡多けんみん病院  
(経営事業課)  
(0880) 66-22222

みなさまお誘いあわせのうえ  
ふるってご参加ください。

○主催  
幡多けんみん病院  
○後援  
四万十市、宿毛市、大月町  
土佐清水市、黒潮町、三原村  
幡多福祉保健所、幡多医師会  
高知新聞社、KTC高知放送

○無料  
どなたでも参加できます。

統計	2月
外来患者数	9,774人
新外来患者数	1,490人
新入院患者数	462人
退院患者数	508人
平均在院日数	13.09日
救急車・時間外患者	930人
手術件数	149件

## 幡多けんみん病院における権利

- 良質な医療を平等に受ける権利
- 医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利
- プライバシーが守られることを期待する権利
- 自分の希望を伝え、医療に参加する権利
- 人間としての尊厳が守られることを期待する権利

